

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	商業係
■評価事業名称	商店街照明灯電気料交付金			
■評価事業コード	060200 - 104	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	03 活気ある商工業の振興		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市商店街照明灯電気料交付金交付規則			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	商店街等の活性化並びに交通の安全確保及び犯罪の未然防止。商業団体等が設置し維持管理する照明灯の電気料金の一部負担			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	商店街照明灯電気料交付金	商業団体等		交付団体数:16団体 交付灯数:1,594灯 交付金総額:3,097千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	3,285	3,109	2,969	3,097	
人件費	988	82	406	79	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,273	3,191	3,375	3,176	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	交付団体数	17団体	17団体	17団体	16団体	・北上地区:10商店会等 ・和賀地区:3組合 ・江釣子地区:3地区
02	交付灯数	1,615灯	1,615灯	1,615灯	1,599灯	・北上地区:1,298灯(17灯減) ・和賀地区:174灯(増減なし) ・江釣子地区:127灯(増減なし)

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	通行量(中心市街地3箇所の平均:歩行者+自転車)	1,261人	1,475人	1,203人	1,328人	H16(実績):2,512人 H17(目標):2,640人 H18~23:前年目標+30人
04	交付1団体当たりコスト	251.4千円	187.7千円	174.4千円	193.5千円	
05	交付1灯当たりコスト	2.3千円	1.9千円	1.8千円	1.9千円	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

交付団体数は、対象団体を概ね網羅している。交付灯数は、照明灯のLED化により減少傾向となっている。通行量は、年度毎に増減を繰り返している。

### 問題点・課題等

現在の補助金算出方法は、40W白熱灯換算なので、今後増加すると見込まれるLED化に対応した算出方法を検討しなければならない。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明